

## 釜山大学校との共同授業について

**概 要**

九州大学と釜山大学校は、相互依存的で未来志向的な日韓関係を構築していく「次世代の人材」の育成を図るために、今年度後期に、両大学による共同授業を実施いたします。

**背 景**

アジア指向を標榜する本学は、2002年10月に釜山（韓国）で開催された「第3回アジア学長会議」において、アジア学長会議参加大学間による学生交流や教員交流に係る新たなプログラム“ASEP(Asian Student Exchange Program)”を提案しました。この提案を受け、九州大学と釜山大学校はASEP交流に係る覚書を2006年5月に締結し、以降、着実な学生交流を行ってきました。

また、両大学における交流の更なる活性化を図るために、2006年9月開催の「福岡・釜山フォーラム」において、本学より釜山大学校に対し、未来の日韓関係をリードする若い世代の育成を図るための教育連携プログラムの実施を提案いたしました。釜山大学校の合意を得た後、両大学間による協議を経て、今年度後期に双方において共同授業を行うことになりました。本学において外国の大学との連携により共同授業を実施するのは、今回が初めてとなります。

**内 容**

歴史的にも地理的にも密接な関係にある日本と韓国は、社会構造や文化の面においても共通点が多く見受けられます。とりわけ、福岡と釜山は、出勤や買い物が可能で一日生活圏の中に組み入れられ、いわゆる日韓文化共生の時代が到来しつつある状況にあります。

このような中、相互依存的で未来志向的な日韓関係を構築していくためには、若い世代が中心となり、国境を越えた同時代的な思考を共有していくことが必要不可欠です。

こうした問題意識のもと、本講義では、両大学の教員各7名（合計14名）が、九州大学及び釜山大学校の双方においてリレー講義形式による授業を行い、歴史関係や政治、経済、産業、貿易、法律、教育、言語、文化など様々な分野における現状認識及び将来展望を試みることにしております。

本学で開講する授業は、“Toward the Future-oriented Horizon between Japan and Korea”（日韓関係の未来志向的展望）という科目名のもと、高年次の学部生（学部3年、4年）及び大学院生を対象に今年10月から講義を実施いたします。一方、釜山大学校で開講する授業は、“Challenges and Future in Korea-Japan Relation”という科目名のもと、学部生を対象に今年9月から講義が実施されることになっております。また、双方における講義は、英語で行うことを原則としております。

なお、今回の共同授業を実施するにあたり、双方にコーディネーターを配置しており、本学は大学院言語文化研究院の曹美庚（チョ・ミギョソ）准教授、釜山大学校は法学部のPark Pae-Keun 助教授がそれぞれ担当しております。

**効 果**

日韓の若い世代が国境を越えた同時代的な思考を共有することにより、相互依存的で未来志向的な日韓関係を構築していく「次世代の人材」が相互に育成されることが期待されます。また、本学の学生にとっては、韓国人講師を通じ韓国側から日本を見つめる、という視点で学ぶ機会を得ることにより、「国際的な感覚及び寛容性」が醸成されることが期待されます。

なお、本共同授業については、9月1日(土)に福岡市で開催される「福岡-プランフォーラム」において発表することになっています。

<p><b>【お問い合わせ】</b></p> <p>&lt; 共同授業の内容 &gt; 言語文化研究院 准教授 曹 美庚 (チョ・ミョン) 電話：092 - 726 - 4677 Mail : cho@flc.kyushu-u.ac.jp</p>	<p>&lt; 釜山大学校との交流 &gt; 国際交流推進室 佐藤伸一郎 電話：092 - 642 - 7012 Mail : shin.uok@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp</p>
---	---